

# 「多治見」の語源 いろいろ

多治見市は、どうして『タジミ』と呼ばれるようになったのでしょうか？これは、郷土資料室にもよく皆さんから寄せられる質問です。多治見のいわれは、定説がありません。その一部を紹介します。

## 1. いたどりの花説

仁徳天皇の皇子の産湯に、風に乗っていたどりの花が飛んできました。いたどりの花の古名を「多遲比」と呼んでいたのが、皇子は「多遲(治)比瑞齒別命(たじひのみずはわけのみこと)」と名付けられました。この皇子の養育にあたった人々には「多遲比部」という姓が与えられ各地に住み着きました。その地方の一つがここ「多治見」ではないかという説があります。



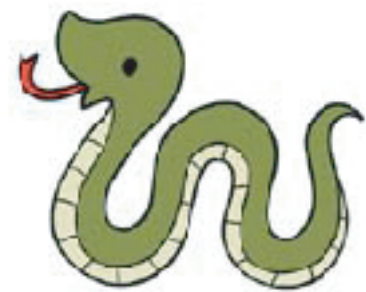
## 2. 丘陵説

丘陵の上などすこし高いところを意味する、「タチ(高くなった所)・ミ(接尾語)」が転じて「タジミ」となった説があります。



## 3. マムシ説

この地方に移り住んだ部民が、タジヒ部と名乗りました。蝮(マムシ)の古名を「タジヒ」と言います。蝮のように毒を持つ怖い存在であることを誇示したのかもしれませんが。



出典:「多治見市史通史編(上)」 広報たじみNo.1927 平成11年8月号「多治見市史にみる人々」  
「岐阜県おもしろ地名考」「ぬくもりの岐阜地名」「市町村名語源辞典」「多治見学」「多治見の植物」

郷土のことについて調べるなら

# 郷土資料室へ

地元に関する資料や市民の皆様から寄せられた文書や記録などを整理し保管しています。保管資料は利用者の方の調べ学習、研究などにもご利用頂けます。

地域の歴史に関するレファレンス(ご相談)は、郷土資料室までお問合せ下さい。市民の皆様からの郷土資料のご寄贈や情報の提供も募集しております。

## 多治見市図書館郷土資料室

【場所】 多治見市豊岡町1-55 まなびパークたじみ4階 JR多治見駅より徒歩5分

【電話】 0572-23-3783

【開室時間】火～土曜日 10時～17時(日・月・祝日・年末年始は休室) ※図書館とは開室日・時間が異なりますのでご注意ください